

- ・佐々木秀信・佐野裕彦・花輪伸一・塚本洋三. 1980. 日本におけるカワウの現状. 昭和54年度環境庁委託調査. 特定鳥類等調査, 47~86. 日本野鳥の会.
- 倉田 篤. 1970. 三重県におけるカワウ・ウミネコのコロニーについて. CRINUM, 12:30~31. 三重大学教育学部生物学教室.

1982年9月8日受理

1. 〒150 三重県四日市市ときわ4-3-24
2. 〒558 大阪市住吉区杉本 大阪市立大学理学部生物学教室.

A New Colony of the Common Cormorant (Phalacrocorax carbo)
in Mie Prefecture

Yukio Higuchi¹ and Masahiro Fujioka²

A new colony of the Common Cormorant (Phalacrocorax carbo) was found in Hasamaura, Nansei-cho, Watari-gun, Mie Prefecture in 1982. The Colony was situated on a small peninsula covered with evergreen forest adjoining mixed-heronry (Ardea cinerea, Egretta garzetta, Nycticorax nycticorax). On July 1, 1982, at least 60 nests were confirmed, five of which contained nestlings. The total number of birds in the colony, including fledglings, was estimated to be 200 to 300. It is inferred that this colony moved to this location from Hamma, Nansei-cho (3.5km northeast of Hasamaura) where there was a colony of about 80 birds between 1977 and 1979.

1. 4-3-23 Tokiwa, Yokkaichi-shi 510
2. Department of Biology, Faculty of Science, Osaka City University, Sugimoto, Sumiyoshi-ku, Osaka 558

コシジロイソヒヨの日本初記録について

川 田 隆¹

1982年5月29日, 静岡県周知郡春野町杉川林道9 Km地点において, 1羽のコシジロイソヒヨ *Monticola saxatilis* の雄成鳥を観察し撮影した. 本種はヨーロッパ中央部から中国東北部に分布するイソヒヨドリ種の1種で, 本邦初記録と思われる. そこで発見時の状況と観察結果を報告する.

観察状況: 発見場所は, 赤石山脈最南部の蕎麦粒山(1627 m)の裾をまくように造られた林道で, 標高は800 m, ブナやツガなどの天然林とスギ, ヒノキ造林地が山を被い, 岩場やガレ場が点在している. 観察個体は, 体型がイソヒヨドリ *M. solitarius* よりふたまわりほど小さく, 尾羽が短かく尻すぼみの感があった. 体色はイソヒヨドリ雄成鳥に類似するが, 背中から腰にかけて大きな白斑があり, 腹部のオレンジ色はイソヒヨドリよりやや淡いが上方まで及んでおり, 白色小斑を多数認めた. 尾羽は腹部と同色のオレンジ色が主体で中央部だけに黒褐色を認めた. 頭部から首までの青

色部はイソヒヨドリより狭く肩羽までで、淡く少し灰色味を帯びていた。飛翔時には三列風切羽の一部に白色を認めた。

観察時刻は9:30 A. M.から3:00 P. M.までであり、快晴の日であった。この間に発見場所より50 m内外の枯木や道横の岩上を移動していた。採食行動はフライング・キャッチが多く、ハエやアブ、ハチなどを捕食し、径2 mmほどのペリットを吐くのを2度観察した。人間に対する警戒性は弱かったが、この地で繁殖しているキセキレイに対しては攻撃的で、5 m内外に近づくと必ず追払った。観察できたのは1日だけで翌日は見られなかった。

考察：イソヒヨドリ類で、背中に白色部があり尾羽がオレンジ色の鳥は、コンジロイソヒヨコの成鳥以外に見当たらないので識別の点では間違いないと考えられる。この個体がどのような経緯で飛来したかは不明である。カゴ抜けの可能性もあるが、足輪や羽毛のスレなどもみられず、人里離れた場所で発見された点と渡りの時期である点から、筆者は迷行した個体と考えた。鄭作新(1976)によれば中国東北部まで分布している。また、ヨーロッパの個体はアフリカ中部で越冬するというので(Campbell 1974)、中国東北部の個体が日本に迷行する可能性も十分考えられる。

終りに、外国文献を訳して頂いた鴨川富美子氏に厚くお礼申し上げる。

文 献

Campbell, B. 1974. The dictionary of birds in color. The Viking Press, New York.

鄭作新. 1976. 中国鳥類分布名録. 科学出版社, 北京.

1982年9月5日受理

1. 〒428 静岡県金谷町金谷3451-21. 静岡支部

First Record of Rock Thrush (*Monticola saxatilis*) in Japan

Takashi Kawada

On May 29, 1982, a Rock Thrush was found and photographed in Shizuoka Prefecture. It is the first record of this species in Japan.

3451-21 Kanaya-cho, Haibara-gun, Shizuoka-ken 428

長野県におけるヤイロチョウの繁殖初記録

林 正 敏¹

1982年6月27日、長野県下伊那郡南信濃村でヤイロチョウ *Pitta brachyura* の営巣が確認された。この繁殖記録は本州最初であり新たな北限として意義深いものと考えられるため、発見者に代って報告する。

発見者は長野県飯田市の宮沢勝美氏で、氏は同日南信濃村の沢奥に写真撮影に行った際、約20年生